

阿蘇草原再生募金の活用状況<第1弾と第2弾>について

■募金の使途

第13回阿蘇草原再生協議会（平成23年9月）で第1弾の支援活動を決定し、平成24年3月末までに1,147万円余りを阿蘇の草原再生に向けた活動に助成させて頂きました。また、第14回阿蘇草原再生協議会（平成24年3月）に第2弾の支援活動を決定し、平成25年3月までに草原の保全再生に向けたさまざまな取組が行われています。第1弾と第2弾の支援活動をご報告します。

■第1弾の主な支援活動の成果

繁殖あか牛の導入

広大な阿蘇の草原保全に向けて、草原保全に貢献するあか牛の放牧を推進するための支援です。第1弾支援では85頭が導入され150～200haの草原維持に貢献しています。支援を受けたあか牛は背中に「草原再生」と書かれて放牧されています。



野焼き放棄地の草原再生

西原村小森原野において、雑木伐採や野焼きを行って約5haを草原に再生。平成23年11月には阿蘇草原再生千年委員会主催の体験イベントとして蒲島県知事も参加して輪地切りを行いました。

草小積みの制作・設置と草原文化のPR

第1弾では8牧野組合により101基の草小積みが設置され、あわせて解説板を設置しました。野草利用促進とあわせて草原文化のアピールや景観づくりに貢献しました。



あか牛肉の普及・啓発と環境教育

阿蘇郡市内38小中学校で、あか牛給食を2～3回程度提供。あわせて草原とあか牛の学習資料を配付しました。また熊本県立大学「食育の日」にあか牛メニューが提供されて好評でした。



野焼き支援ボランティアの運営管理

阿蘇グリーンストックでは年間延べ2千人以上の野焼き・輪地切り支援ボランティアを牧野維持管理の助っ人として派遣しています。また、LinkASOの学生たちが研修を兼ねて牧野維持管理作業を手伝いながら草原について学びました。

■ **第1弾支援活動一覧**（支援活動実施期間：平成23年9月～平成24年3月）

活動区分	助成内容	交付額(円)	助成対象等
草原維持管理の継続	①繁殖あか牛導入	繁殖用あか牛の導入に対し、1農家1頭につき6万円を助成	5,100,000 85農家・頭
	②野焼き(管理)放棄地の草原再生活動	野焼き(管理)放棄地での野焼きを再開する作業費の一部を助成	1,150,000 小森原野組合(西原村)
	③草小積みの制作・設置と草原文化のPR	牧野組合等が制作・設置に関わる費用として、1基あたり5千円を助成	550,675 8組合/101基 看板製作
	④野焼き支援ボランティアの運営管理に関する活動	野焼きや輪地切り支援ボランティアの派遣に係る運営管理費用の一部を助成 学生による草原再生活動に係る費用の一部を助成	3,500,000 120,000 (公財)阿蘇グリーンストック Link ASO(兵庫県三田市)
草原を守る担い手づくり(草原環境学習)	⑤あか牛肉の普及・啓発と環境教育	阿蘇郡市内の小中学校給食用にあか牛肉を提供する活動を助成 あか牛肉のメニュー開発と利用の啓発につながる活動を助成	1,004,844 49,585 阿蘇郡市内38小中学校給食 熊本県立大学
	計	11,475,104	

※第1弾助成については、支援対象となる活動を上表の5項目に限定して募集しました。

■ **第2弾支援活動一覧**（支援活動実施期間：平成24年4月～平成25年3月、現在実施中です）

活動区分	助成内容	助成額(円) (見込み)	助成対象等
草原維持管理の継続	①繁殖あか牛導入	繁殖用あか牛の導入に対し、1農家1頭につき6万円を助成	6,000,000 100頭上限 ※3月末まで申請受付
	②野焼き(管理)放棄地の草原再生活動	野焼き(管理)放棄地での野焼きを再開する作業費の一部を助成	1,200,000 中無田原野管理組合有志の会(阿蘇市) 龍神牧野組合(阿蘇市)
	③草小積みの制作・設置と草原文化のPR	牧野組合等が制作・設置に関わる費用として、1基あたり5千円を助成	50,000 1組合/10基 看板製作
	④野焼き支援ボランティアの運営管理に関する活動	野焼きや輪地切り支援ボランティアの派遣に係る運営管理費用の一部を助成	3,500,000 120,000 (公財)阿蘇グリーンストック Link ASO(兵庫県三田市)
		⑥未利用草地の利用再開	未利用草地の利用普及・採草再開に係る費用を助成
様々な動植物が生息・生育する草原環境の再生	⑦草原に生息・生育する動植物に関する調査	昆虫(チョウ類)生息調査	300,000 寺崎昭典(熊本市)
		採草による草原環境への影響調査	150,000 阿蘇草原再生シールの会
	⑧動植物の保全に向けた草原利用のPR	野草を利用した農産品生産に関する広報活動	180,000 阿蘇草原再生シールの会
草原を守る担い手づくり(草原環境学習)	⑨草原環境学習の推進	小学生対象の生き物観察会	200,000 なみのやすらぎ交流館(阿蘇市)
		草原環境学習資料作成とプログラム試行	190,000 阿蘇火山博物館(阿蘇市)
		阿蘇草原の出前学習とシンポジウム開催	120,000 阿蘇火山博物館(阿蘇市)
		県内小学校等への草原環境DVD寄贈	450,000 (公財)阿蘇グリーンストック(阿蘇市)
		野草紙卒業証書づくり	400,000 九州バイオマスフォーラム(阿蘇市)
		教職員対象の草原環境学習ワークショップ	100,000 国立阿蘇青少年交流の家(阿蘇市)
計		13,460,000	

※第2弾助成については、活動を特定して募集する「指定枠」(①、②、④)と、自由な内容で応募できる「自由枠」を設けて募集を行いました。指定枠13件と自由枠17件の応募の中から、草原再生協議会において上表の活動(指定枠3件、自由枠13件)が決定されました。